

後半は特別講演として、演者に淑徳大学総合福祉学部教授 結城康博先生をお招きし、『超高齢化社会における医療・介護政策の方向性』という題でご講演いただきました。講演後にフロアから多数の質問がありましたが、一つ一つ丁寧にお答えいただき、活発なディスカッションが行われました。

最後に、本学術集会で学校法人大乘淑徳学園淑徳大学に開催のご協力をいただきましたことに対し、厚く御礼申し上げます。

第9回大阪支部学術集会

学術集会会長：りんくう総合医療センター理事長 八木原 俊克

2016年2月27日(土)に第9回学術集会を大阪国際交流センターにて開催しました。今年は675名の方にご参加いただき、～つなげる医療ネットワークとチームマネジメント～をテーマに、特別講演2講演、教育講演1講演、シンポジウム2テーマ、ランチョンセミナー2テーマ3講演、交流集会(事例カンファレンス)1枠、一般演題113題と盛りだくさんのプログラムで、講演、発表、ディスカッションが行われました。

特別講演では、今最も興味深い題材として、国際医療福祉大学の武藤正樹先生に「2025年へのカウントダウン～地域医療構想と地域連携」、また大阪府健康医療部長の上家子先生には「医療マネジメントを進めるために～大阪府医療勤務環境改善支援センターの取り組み～」についてご講演いただきました。教育講演では東京都健康長寿医療センター研究所の伊東美緒先生に「人間らしい存在であり続けることを支えるために～やさしさを伝えるケア技法：ユマニチュード®～」というタイトルでご講演いただき、どの講演も大変盛況でした。

全てご紹介できませんが、他の講演、シンポジウム等も大変興味深いテーマで、充実した発表と活発なディスカッションが行われ盛会裡に終わることができました。

最後にご協力いただきました方々、ご参加いただきました皆様に心より感謝申し上げます。

第16回岡山県支部学術集会

学術集会会長：岡山市立市民病院院長 松本健五



会場風景

2016年2月27日(土)、岡山市立市民病院1階多目的ホールにて第16回岡山県支部学術集会を開催いたしました。テーマを「病院が輝くための教育とは何だろう～人が育てば

病院力が育つ～」とし、県内外から250名のご参加をいただきました。

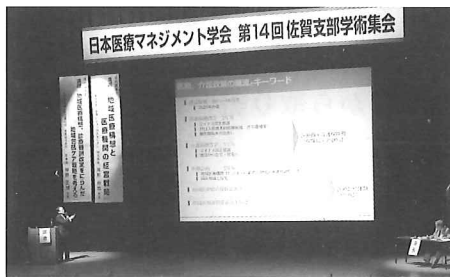
特別講演では、筑波大学医学医療系/水戸協同病院教授 矢野晴美先生に「21世紀のヘルスケア・プロフェッショナルの育成」と題してご講演いただき、国際化やチーム医療・予防医学をキーワードに21世紀を担う医療従事者に求められる必須スキルについてお話しいただきました。シンポジウムでは「医療現場の教育」のテーマのもと、異なる立場から医療現場で教育を実践する5名の多職種の方に発表と総合討論をお願いしました。ランチョンセミナーは、「身体科日常診療におけるうつ病治療の有用性」「平成28年度診療報酬改定の概要」の2題でタイムリーな内容でご解説いただきました。

一般演題14題、ポスター発表9題、クリティカルパス展示5題と多くの発表および展示をいただき、大変充実した学術集会となることが出来ました。

開催にあたりご協力いただきました皆様に深く感謝申し上げます。

第14回佐賀支部学術集会

学術集会会長：社会医療法人謙仁会山元記念病院理事長 山元章生



会場風景

2016年2月27日(土)、佐賀県伊万里市(伊万里市民センター)において第14回日本医療マネジメント学会佐賀支部学

術集会を開催し佐賀県内だけではなく福岡県からも多くの方々にご参加いただきました(参加者203名)。

今回は「地域医療、進化への挑戦！」をメインテーマとし、サブテーマ、「未来を切り拓く医療マネジメント、我々は地域包括ケアシステム・地域医療構想とどう向き合うか！」のテーマに沿って各医療機関から26演題の一般演題を発表いただき、有意義な意見交換を行っていただいたと思っております。

また特別講演を今回はお二人の著名な演者の先生にお話しいただき、東京大学、尾形教授には総論的に「地域医療構想と医療機関の経営戦略」についてご講演いただき、恵寿総合病院理事長の神野先生には各論的に「地域医療構想、診療報酬改定をにらんだ地域包括ケア戦略を考える」といった内容でご講演いただきました。お二人のお話から、今後2025年に向けて地域を医療の視点だけではなく、介護や住まいを含め、それぞれの地域の特性を見極めて各病院がどう自院のポジションを